

平成28年（2016）2月 入域観光客数概況

2月の観光客数は、62万2,500人
対前年（H27）同月比 +7万1,600人、+13.0%
～2月の過去最高を更新、早くも累計で前年度の実績を上回った～

入域状況

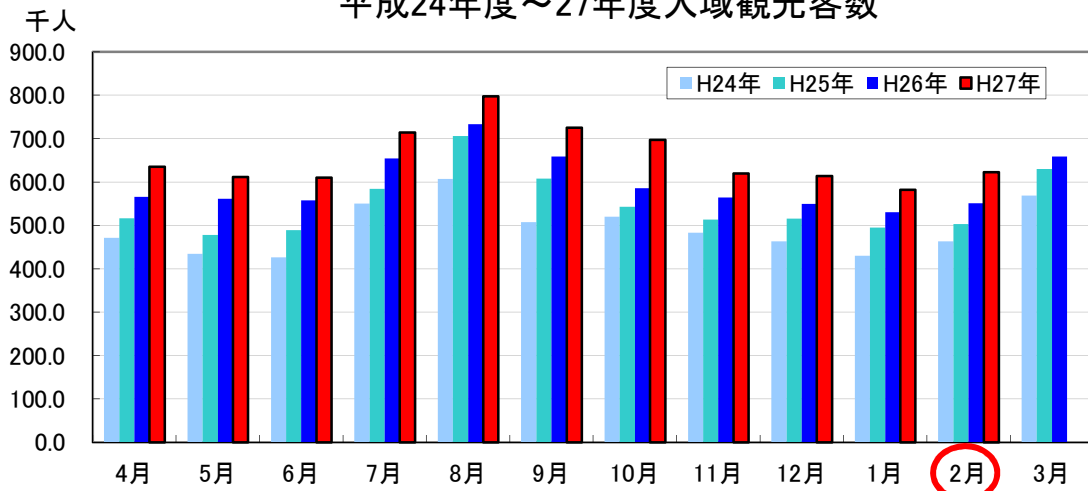
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	472,600 人	464,200 人	+ 8,400人	+ 1.8%	75.9%
外国客	149,900 人	86,700 人	+ 63,200人	+ 72.9%	24.1%
合計	622,500 人	550,900 人	+ 71,600人	+ 13.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	472,600 人	464,200 人	+ 8,400人	+ 1.8%	77.9%
外国客	133,800 人	82,400 人	+ 51,400人	+ 62.4%	22.1%
合計	606,400 人	546,600 人	+ 59,800人	+ 10.9%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

2月は、スポーツキャンプ見学や桜まつり等数多くのイベントがあったことや、各旅行会社による旅行商品の販売状況が良好なこと、下旬にはLCCによる成田－那覇路線の新規就航があったこと等から、前年を上回った。

3月は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬には岩国－那覇路線の新規就航等が予定されていることから、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

2月は、台湾・中国本土・香港の春節及び韓国の旧正月における旅行需要増に伴う不定期便・臨時便・チャーター便や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。

3月は、下旬から主要方面で航空路線の増便や、引き続き、クルーズ船の寄港回数が増加する予定となっていることから空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	225,400 人	225,600 人	△ 200人	△ 0.1%	47.7%
関西方面	95,500 人	91,100 人	+ 4,400人	+ 4.8%	20.2%
福岡方面	65,300 人	59,900 人	+ 5,400人	+ 9.0%	13.8%
名古屋	41,000 人	37,400 人	+ 3,600人	+ 9.6%	8.7%
その他	45,400 人	50,200 人	△ 4,800人	△ 9.6%	9.6%
合計	472,600 人	464,200 人	+ 8,400人	+ 1.8%	100.0%

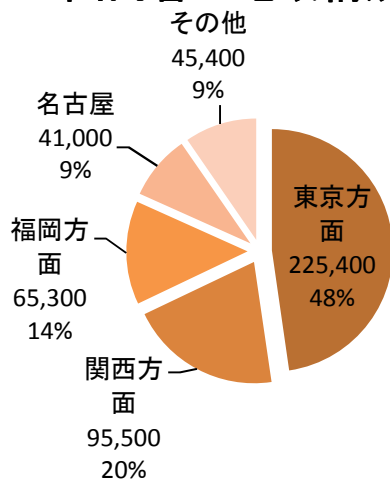
※国内海路客1,800人を含む(鹿児島1,700人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

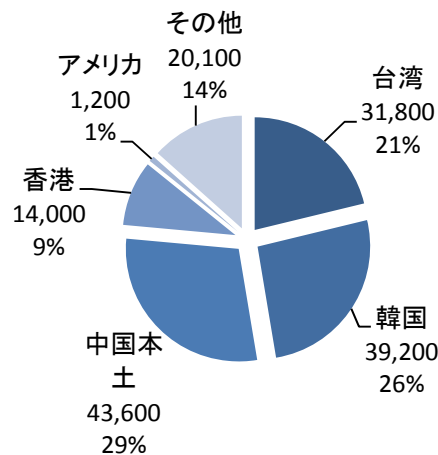
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	31,800 人	31,800 人	20,000 人	+ 11,800人	+59.0%	21.2%
韓国	39,200 人	39,200 人	26,100 人	+ 13,100人	+50.2%	26.2%
中国本土	43,600 人	43,600 人	21,000 人	+ 22,600人	+107.6%	29.1%
香港	14,000 人	14,000 人	10,400 人	+ 3,600人	+34.6%	9.3%
アメリカ	1,200 人	1,200 人	1,100 人	+ 100人	+9.1%	0.8%
その他	20,100 人	4,000 人	8,100 人	+ 12,000人	+148.1%	13.4%
合計	149,900 人	133,800 人	86,700 人	+ 63,200人	+72.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	23,500 人	23,500 人	+17.5%	23.1%	8,300 人	8,300 人	皆増	17.2%
韓国	39,200 人	39,200 人	+50.2%	38.5%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	22,600 人	22,600 人	+53.7%	22.2%	21,000 人	21,000 人	+233.3%	43.6%
香港	12,200 人	12,200 人	+19.6%	12.0%	1,800 人	1,800 人	+800.0%	3.7%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	+25.0%	1.0%	200 人	200 人	△33.3%	0.4%
その他	3,200 人	3,200 人	+18.5%	3.1%	16,900 人	800 人	+213.0%	35.1%
合計	101,700 人	101,700 人	+36.5%	100.0%	48,200 人	32,100 人	+295.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

2月は、前半はやや低調な入込だったものの、スポーツキャンプ見学や桜まつり等数多くのイベントがあったことや、下旬にピーチアビエーションによる成田－那覇路線の新規就航があったこと等から、前年並みとなった。

3月は、各旅行会社の予約状況が良好なことや、下旬にはANAによる羽田－宮古路線の新規就航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

2月は、離島を中心とした旅行商品の販売状況が良好であったことに加えて、引き続き、伊丹－那覇や神戸－那覇路線が好調に推移したこと等から、前年を上回った。

3月は、各旅行会社による離島を含めた旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬にはANAによる関西－宮古路線の運航再開が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

福岡

2月は、宿泊パッケージ等の旅行商品の販売状況が好調であったことに加えて、ピーチアビエーションによる福岡－那覇路線の増便があったこと等から、前年を上回った。

3月以降は、各旅行会社の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

2月は、一部旅行会社による、スポーツキャンプや離島等の旅行商品の販売状況が良好であったことや、引き続き、LCCが好調に推移したこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みの旅行需要により予約状況が好調なことや、宮古や与那国への直行チャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

2月は、春節時期の旅行需要増に伴う臨時便に加えて、下旬にピーチアビエーションによる台北－那覇路線の増便や、定期クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

3月は、クルーズ船の寄港回数の増加、下旬の各航空会社による航空路線の増便や、旅行商品の予約状況も好調なこと等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

2月は、旧正月や春休み等の旅行需要増に伴う不定期便や那覇及び離島へのチャーター便があったことにより、空路客を中心に前年を上回った。

3月は、新学期の開始に伴うオフシーズンとなり、下旬には釜山－那覇路線の減便が予定されているものの、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

2月は、春節時期の旅行需要に加えて、個人・団体旅行ともに販売状況が好調であったこと等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

3月以降は、お花見の旅行商品等、他方面との競合が懸念されるものの、3月下旬には中国国際航空による北京－那覇路線の増便があること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

2月は、春節時期の旅行需要増に伴う航空路線の臨時便に加えて、上海発クルーズ船の寄港回数が増加したことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

3月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

香港

2月は、春節時期の旅行需要増に伴う航空路線の臨時便に加えて、香港発クルーズ船の寄港回数が増加したことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

3月以降は、香港ドラゴン航空による航空路線の増便に加えて、サイクリング関連の旅行商品造成の取り組みや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。